

クマ にご注意ください！

農作業中の人身事故が多数発生しています
農作業を行う際は以下の点に注意しましょう！



クマと遭わない！

★ ラジオなど音の出るものを携帯する

- ・音を出して自分の存在をアピールしましょう



★ クマの目撃情報を確認する

- ・市町村からの情報や長野県警公式アプリ「ライポリス」などを確認し、**農地周辺の目撃情報等**を確認しましょう



★ できるだけ単独での農作業は避ける

- ・頻繁に出没する地域では、できる限り1人での農作業は避けるなど、**複数人グループで農作業**を行きましょう
- ・特に**朝夕の時間帯**は注意しましょう



※ 森林（山）に近い農地のほか、河畔林沿いの農地も注意が必要です

イラスト引用元「いらすとや」

クマを寄せ付けない！

★ 生ごみや廃棄残さを適切に処理する

- ・果樹や野菜の収穫残さは**放置せず、埋設**など**適切に処理**しましょう



★ 収穫物などは鍵付きの倉庫等で保管する

- ・未施錠の倉庫にクマが侵入した例があります
- ・収穫物やクマのエサとなるようなものは、必ず**鍵付きの倉庫等に保管**するようにしましょう
- ・刈払機やチェーンソーの**混合油**や**ガソリン**などの**揮発性の物質**もクマを誘引する恐れがあります



イラスト引用元「いらすとや」

クマの生態と特徴

★本来は臆病な動物

- ・人に気が付くと自分から逃げる事がほとんどです
- ・被害の多くは、人とクマがお互いに気づかないまま接近し、不意に出会ってしまうことで発生しています
- ・また、子グマの近くには母グマがいる可能性が高いので近づくと危険です

★活動時間や行動の特徴

- ・夜や朝夕の時間に活動することが多いです
- ・クマには「なわばり」はなく、広範囲を移動し”食べ物“を探しています

★クマの嗅覚はとても鋭い

- ・犬と同等の嗅覚を持っているため、遠くの食べ物を見つけることができます

クマの農業被害とその対策

★クマによる農業被害の痕跡

- ・クマ対策の基本は「人の食べ物の味を覚えさせない」ことです
- ・クマの痕跡を発見した場合は、速やかな対策が重要です



クマの糞の例



クマによるりんごの食痕



電気柵の設置例

★農業被害を防ぐには

- ・電気柵を設置し、侵入を防止しましょう
- ・クマを引き寄せせるもの（廃棄農作物等）を適切に片付けましょう
- ・林縁部のヤブなど、見通しの悪い箇所の刈り払いを行い、クマの出没しにくい環境整備を行きましょう
- ・対策に係る補助事業はお住まいの市町村へお問合せください



「農作業中のクマ注意」
県農政部ホームページ

【令和8年3月作成】

農業被害対策に関するご相談はお住まいの市町村役場
又は、県農業農村支援センターまでお問合せください

長野県農政部

担当課：農業技術課環境農業係
電話：026-232-0111（代表）



「クマの人身被害を防ぐには」
県林務部ホームページ

<うら>